

20 情報収集・分析力向上研修



～情報収集・分析の基本を学ぶ～

目的	「分析とそれに付随する情報収集業務」を改めて見直し、その上で行政課題発見、改善の基礎的な技術を身に付けることにより、職場のリーダーとして必要な「企画提案力、分析力」の向上を図る。
内容	(1) 課題解決のための分析ステップを学ぶ。 (2) 仮説構築の必要性と方法を学ぶ。 (3) 適切な情報収集のために、「そもそも「情報」とは」から学ぶ。 (4) 目的につながる分析・解釈を、「定量的な分析（統計等）」と「定性的な分析（例：SWOT分析）」に大きく分け、概要を学ぶ。 (5) 情報を課題解決につながるツールとして効果的に役立てるために、様々な「図解手法」を演習を通じて学ぶ。 ※テクニカルな統計分析・データ分析等については扱いません。
実施月日	【第1組】 8月 9日（火）～10日（水） 【第2組】 10月27日（木）～28日（金） 【第3組】 12月 6日（火）～ 7日（水）
対象者	【市町村職員との合同研修】 ・中堅キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 12名×3組＝36名 ・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 12名×3組＝36名 ・採用2年目～係長級の市町村職員 18名×3組＝54名
昨年度受講者の声	・目的の整理や仮設の設定など事前に行うことがあり、それが情報収集の効率化や質にかかわってくることを学んだ。 ・県内の事例を多く扱っていて、分かり易かった。 ・他所属の職員とのディスカッションでは視点や知識が多種多様で新たな気づきが多く得られた。 ・講義の中で何度も振り返りの時間を設けていただいたので「何となく分かった」状態のまま進むのではなく、自分の理解度を意識しながら学習できて良かった。

日 程 表		8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	オリエンテーション	1 EBPM及び分析の基本視点 ・ EBPM(証拠に基づく政策立案)とは ・ そもそも分析が必要な理由	2 目的を押さえる ・ 目的意識と相手意識 ・ 課題の絞り込み	昼食	3 仮説を立てる ・ 仮説の必要性、重要性 ・ 手持ちの情報で仮説を立てる ～フェルミ推定～ ・ 仮説を立てるための材料を洗い出す	4 適切な情報収集をする ・ 情報の種類 ・ 情報の入手 ・ 情報を見極める ・ 統計とは ・ 統計の見方 ・ フレームワークを使って情報収集をする
2日目	受付		5 目的につながる分析、解釈をする ・ 分析する（定性分析、定量分析） ・ 解釈する	6 分かりやすく表現する ・ 視覚化のセオリー ・ グラフは言語	7 総まとめとコミットメント	アンケート・閉講	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。